

51 聞いてきました みんなの広場

玉村町手づくり甲冑愛好会

お話を伺ったのは、
会長の齊藤 孝さんです

軍配山 采配振るった 滝川一益



軍配山まつりの武者行列

もを好みの色に染めて使います。会員それぞれが自分で手に入れられる材料を工夫して加工しています。

活動は？

甲冑づくりは月に4回程度。甲冑を身に付け、武者行列を組むのは玉村町産業祭「軍配山まつり」。玉村八幡宮の六斎市では、子供たち向けに甲冑試着撮影会を行います。また、新町ふるさと祭り「神流川合戦」、甘楽町の小幡さくら祭り、白井宿八重ざくら祭り、箕輪城まつり、上州沼田真田まつりなどにも例年武者行列で参加しています。



甲冑試着撮影会(六斎市)

愛好会の成り立ちとは？

織田信長の家臣、滝川一益が神流川合戦で本陣を玉村町に置きました。この際、古墳の上で軍配を振るったとされたことが、軍配山古墳の名前の由来といわれています。歴史を語り継ぐべく「軍配山まつり」開催を目的として手づくり甲冑愛好会は発足しました。現在、会員は20名。

手作り甲冑とは？

カブトはヘルメットをベースに様々な装飾を、胴の部分はトタンや塩化ビニル板などを切ったり曲げたり塗装したりします。直垂は塩化ビニル板や段ボールに漆を塗ったりして、たくさん使う組みひもは100均で買った靴ひ

議会だよりの感想は

いつも目を通してはいますが、全部は読んでいません。見出しや写真を見て興味を持った記事は読んでいます。

今回は原委員が取材しました

こちら編集室

新型コロナウイルスのワクチン接種の準備が始まりました。感染対策が進むことを期待します。ところで感染症対応の中で、聞きなれないカタカナ語が出てきました。クラスター、ロックダウン、オーバーシチュート、パндеミックなどです。

クラスターは広辞苑で調べると花や実などの房の意味、同種のもものが集まって作る一団とありました。オーバーシチュートは経済用語で相場の上昇や下落が目標値や均衡値を行き過ぎることだそうです。パндеミックは20年近く前に発生した感染症SARSの大流行のときに、勤務先の若い保健師から聞いた言葉です。



議長 三友美恵子
 副議長 月田均
 委員 原利幸
 委員 小林一幸
 委員 新井賢次
 委員 石内國雄

今回初めて聞いた人も多かったと思います。これらカタカナ語については命に関わることなのでもっと分かりやすい言葉で表現したほうがよかったです。クラスターは集団感染、オーバーシチュートは爆発的増加、パндеミックは世界的大流行など。議会だよりの成に当たっても、分かりやすい言葉で伝えることが大切と感じました。(月田均)

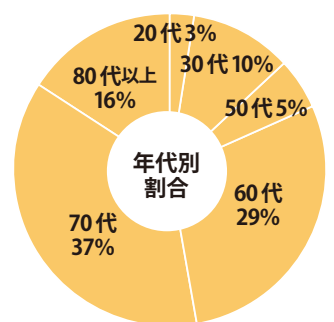
たまむら議会山柳 卒業式 今年も 外で 一人泣く (詠み人 コバパン)

次回定例会の予定

6月1日(火)
 10日(木)

本会議・委員会は、
どなたでも傍聴できます

3月議会の傍聴者は
38人でした。
(男性：29人・女性9人)



※10代・40代はなし